

協議会ニュース

No. **163**
2019. 6



Contents

02	2019 年度 通常総会報告	理 事	山田 博一
03	講演会報告「不思議な発光生物の世界: 未踏の深海から近所の公園まで」	名古屋支部	高松 一史
04	私の活動紹介	西三河支部	三田 孝
05	支部総会報告(名古屋支部、知多支部)	名古屋支部	滝田 久憲
06	支部総会報告(東三河支部) 新指導員紹介	知多支部	榊原 靖
07	理事会報告⑤2/11、①3/21	東三河支部	星野 芳彦
08	行事案内/事務局からのお知らせ/編集後記	事務局	石原 則義
		事務局	石原 則義

今号の表紙

カマキリのカップル 小幡緑地水生園にて 石原 則義 (名古屋支部)
続けて生き物のアップの写真大募集!

2019 年度 通常総会報告

日時：2019 年 3 月 21 日(木・祝)13:30～

場所：日本特殊陶業市民会館 出席者 47 名

●開会

堀田会長代行から「雨の中を総会に参加して頂きありがとうございます。会計の長谷川理事が第 2 号第 5 号議案は作り直していますのでしばらくお待ちください。昨年、大谷さんが体調不良で私が代行していましたが、もし、どなたか会をまとめて頂ける方がありましたら会長をお願いいたします。後で言ってもらってもかまいません」という挨拶で総会が始まりました。

司会の浅井理事から「出席は 41 名です。司会・書記をやって頂ける人はいませんか？」とお願いしましたが、立候補がないので、議事進行を堀田会長代行、書記を山田理事で始まりました。

●第 1 号議案 2018 年度事業報告

石原事務局長から、昨年実施した、あいちの自然観察会は親子で楽しくできました。十五夜イブは 64 名もの参加がありました。前田公園の冬鳥の観察などの活動も盛況だったことが報告されました。また、生物分類・生態研修会は五条川のオヤニラミを駆除した話やコイが外来種であるなど興味の尽きない内容でした。協議会交流の日は午前はドングリの観察会、昼のオカリナの演奏、午後は工作教室で大変充実していました。さらに新しい指導員が入ってきて活躍されている状況が報告され、了承されました。

●第 2 号議案 2018 年度決算報告ならびに監査報告

2018 年度の予算額と決算額の訂正があり、堀田会長からの「会計報告はもう一度作り直して郵送します」との補足で第 2 号議案が了承されました。

●第 3 号議案 新役員の紹介

事務局から 3 号議案の提案があり、堀田さんは会長代行でなく会長をお願いしたいという提案、副会長の星野さんが東三河の代表となり副会長

は、三田さんと浅井さんにやっでもらう提案が了承されました。編集長の日浦さんが病気のため辞められ、提案された代わりの編集長は決まらず、もう一度検討することになりました。第 3 号議案も了承されました。

●第 4 号議案 2019 年度事業計画

石原事務局長から「第 4 号議案のあいち自然観察会と研修会の日程・内容は未定なところがあるので協議会ニュース 6 月号に確定したものを同封して送ります。指導員講習会でスタッフを 9 名募集しています。生物分類・生態研修会は津田岐阜大学教授が『火と植物の不思議な関係』を 11 月 30 日に行いますので御参加ください」という説明がありました。

調査担当の瀧崎理事から「県の環境部とタイアップして環境指標種ハンドブックを作っています。スマホで写真を撮って位置情報をつけて送信すると分布のマップを作って県の資料のデータにしてくれるので送ってください」という補足があり、それに対して「みんなが理解できる資料を作って欲しい」との要望が出ました。

保険担当の新山理事から「今までの保険に熱中症の対応を加えました」という補足がありました。

●第 5 号議案 2019 年度予算案

長谷川理事から第 5 号議案(2019 年度予算)の提案があり「熱中症対策のため保険料が少し上がった」という補足説明があり了承されました。

総会の最後に「大事な総会なのに『次の講演会の講師や一般参加者が来ているから』という理由で十分話し合いをしないのは不味い」という苦言がありました。次回は議論の時間を十分持てるようにしたいと思います。

(記録：山田博一)

「不思議な発光生物の世界：未踏の深海から近所の公園まで」

大高緑地自然観察会 高松一史

3月21日(木・祝)日本特殊陶業市民会館の3階第1会議室において、中部大学 准教授 大場裕一先生から、「不思議な発光生物の世界：未踏の深海から近所の公園まで」、についての楽しい講演を頂きました。

みなさんは、ここ名古屋が発光生物の研究が盛んな地域であることをご存じでしょうか？

2008年にノーベル化学賞を受賞した名古屋大学特別教授 下村修先生は、クラゲの一種オワンクラゲが光る仕組みを解き明かし、緑色蛍光たんぱく質(GFP)を発見されました。

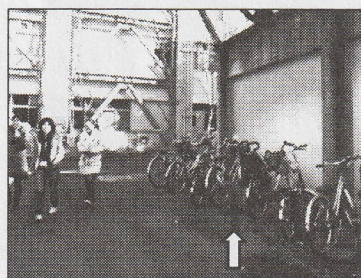
さて、ホタルの歴史は古く、日本人は古来より、自然を愛しむ文化がありました。万葉集では「影草の生いたる野外やどの夕影に なく蟋蟀(こおろぎ)は聞けど飽かぬも」など、「こおろぎ」を詠んだ歌が七首残されています。夏の風物詩として“蛍狩り”という言葉があります。実際に蛍を捕まえるのではなく季節の風物を楽しむ、鑑賞するという意味があります。

◆光るミミズ (ホタルミミズ)

ホタルミミズ(蛍蚯蚓、学名: *Microscolex phosphoreus*) は、小型のミミズの1種である。生物発光することで知られている。

添付写真でもわかる様に名古屋大学農学部付近の自転車置き場の有機物を多く含むシルト質の湿った土壌の付近でホタルミミズの糞塊が発見されました。

*名古屋大学博物館報告 名古屋大学キャンパス内で発見されたホタルミミズとそのDNAバーコード解析 (No. 27, 13-16, 2011) より引用



名古屋大学の自転車置き場



近くの公園



ホタルミミズの糞塊(ふんかい)



ホタルミミズの
発光前



ホタルミミズの
発光の様子

ホタルミミズの見つけ方

- 1 さむい季節にいます(11月から3月くらい)
- 2 じめじめしてコケがはえてるようなところにいます
- 3 ミミズのふんのあとを見つけたらほってみよう
- 4 2センチくらいのピンク色のミミズがいたらもってかえる
- 5 まっくらいところで、お尻をつついて光るか見てみる



ホタルミミズ(約2センチメートル)



ホタルミミズのふんのあと(ふんかい)

私の活動紹介

西三河支部 三田 孝

1. 西三河支部（西三河自然観察会）

西三河支部は大きく分けて2種類の観察会を行っています。会主催観察会と地域定例観察会です。

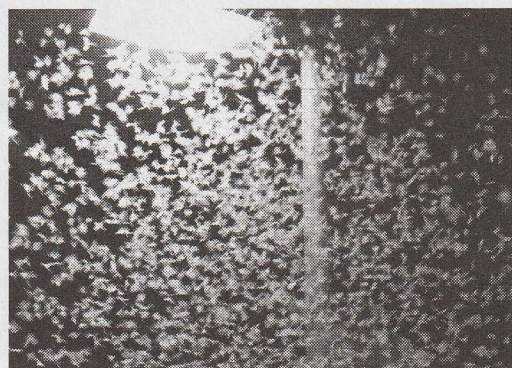
会主催観察会は西三河全域で場所と担当者を変えて行うものです。段戸裏谷、昭和の森、佐久島など比較的自然が豊かな場所を選びます。時には都市公園でも開催してきました。会員の多くが参加する観察会となっています。

地域定例観察会は観察地を固定してほぼ毎月行うもので、担当者も固定されています。運営は担当者に任されているので観察スタイルは個性的です。平戸橋周辺、くらがり溪谷、おかざき自然体験の森で行われています。

私は主として会主催観察会の運営に携わっています。支部長を15年やっていますが、指導員としてはまだまだ半人前。経験豊かな会員さんの解説に耳を傾け、毎回新しい見方に出合い観察会を楽しんでいます。

2. 中部水生昆虫研究会

30年以上前に協議会としてオオシロカゲロウ（当時はアミメカゲロウといていた）の分布調査をする企画があり、私は西三河担当になりました。この道の専門家である伴さん（西三河支部会員）に協力を求



め、矢作川支流の男川（大平橋）で調査を始めました。9月の集団羽化の様子は全国各地で報じられていますが、その大迫力に圧倒されました。

それ以来、「集団羽化するタイミングは何で決まるのか？」をテーマに春先からの幼虫採集や水温水質調査を続けてきました。しばらくして大平橋での発生が減少し、矢作川本流の平戸橋周辺に調査地を変更しました。蓄えたデータはかなりの量になりますが、現在に至るも集団発生を引き金になるものは見いだせていません。

最近では矢作川下流域の河川敷にあるエノキやムクノキの樹形に興味をもち、調査を始めたところです。



3. 登山

仕事（高校登山部顧問）がらみで山に登ることが多いですが、個人的な登山も増やしています。現在64才。登山できるのは後5年くらいか。できるかぎり出かけようと思っています。山では写真をたくさん撮ります。と言っても一眼レフは持っていません。コンデジとスマホです。軽量で小回りがきくので気に入っています。撮った画像データはHDDの肥やしにするばかりでしたが、数年前からSNSで発信することを覚えしました。（FacebookはTakashi Mita）

名古屋支部総会報告

滝田 久憲

日 時：2月24日（日）14:00～
場 所：名古屋市市民活動推進センター
参加者：31名 委任状32名

平成31年度の名古屋支部の総会が名古屋市中区のナディアパーク6階にある「名古屋市市民活動推進センター」の集会室で開催されました。支部長の挨拶の後、議長と記録係が選出され、議事が進められました。

最初に平成30年度の各種事業の報告がなされました。平成30年度においても、定例自然観察会を始めとした様々な事業が実施されました。続いて、会計報告がなされ、事業報告と共に承認されました。

次に、平成31年度の新役員が選出され、事業計画とそれを実施するための事業予算が議論され承認されました。新しい動きとしては、今年、県協議会がNACS-Jと協力して行う自然観察指導員の講習会にスタッフを派遣することや、新入会員の研修会を兼ねた県協議会交流の日の事業を名古屋支部が担当して行うことなどがあります。

総会終了後、コケ研究家で「苔むす会」会員の山内喜朗氏により、「コケのお話」と題した講演会が行われました。昨年9月に実施された環境デーなごや中央行事の名古屋支部のブースに氏が立ち寄っていただいたのがきっかけとなって、今回の講演会が実現しました。講演会では、最近のコケブームの話やコケや地衣類などの生活史、コケの生命力の強さ、日本の貴重なコケの森、東海地方や名古屋市での観察地、コケの調査法、コケと動物の関係、WEBサイトや参考資料、自らが所属する「苔むす会」などの紹介がありました。

名古屋支部 平成31年度 役員

支部長：滝田 久憲
副支部長：石原則義、石樽純子、大澤淳二、
近藤記巳子、高松一史、滝川正子、
布目 均、巾 賢治、堀田 守
会 計：新山 雅一

知多支部総会報告

榊原 靖

日 時：2月 3日（日）9:30～11:30
場 所：阿久比町勤労福祉センター
出席者：33名

知多自然観察会（知多支部）の総会は、2月3日に行われました。冒頭の代表挨拶でこの一年の間に他界された会員、元会員の皆さんに哀悼の意を表しました。会の発足から30年以上。時の流れは否応なくこうしたことをつき付けてきます。

議事は滞りなく進行し、ほぼ予定通りに終了、変わり映えのしない新体制での一年がスタートしました。以前、このように型通りに進んでいくことが何となく面白味に欠けるように感じたことがあります。これはこれで結構すごいことなのかも知れないなど思うようになりました。加齢の弊害でしょうか。



総会風景（和室です）

知多支部 平成31年度 役員

顧問：降幡光宏
代表：榊原 靖
副代表：榊原正躬、南川陸夫
庶務：吉川 勉
会計：森田琢磨
会計監査：牧野靖子
山田公子

東三河支部総会報告

星野 芳彦

日 時：2019 年 2 月 9 日（土） ～
場 所：豊橋市民センターカリオンル4階
出席者：37 名 33 名分の委任状

2019 年度を迎え、新たな気持ちで活動
開始！楽しみだのん！”

会員数 80 名の過半数を占め、総会は無事に
成立しました。ご存知のように東三河支部は、
特定非営利活動法人(NPO)です。NPO は、特定非
営利活動促進法により、任意団体が法人格を取
得した組織・団体のことで、その組織の基盤が
法的に認められ、社会的な信用が得られやすく
なります。私どもの支部では、自分たちの活動
をよりよくすることを目指して、年前に法
人化に踏み切りました。ただ、義務も生じてき
て、納税や情報公開、法に沿った法人運営(総
会、届け出等々)などの雑務(!?)が求められま
す。

このような事情で、当支部には、NACS-J の講
習会を受けていないメンバーもいます。当初は、
正直、戸惑いもありましたが、それぞれの立場
を生かして自然観察会を企画運営していくう
ち、徐々に成果が出てきました。これも、自然
観察会のひとつのあり方ではないでしょうか。
活動の詳細は、HP を参照下さい。

総会は、昨年にご逝去された高橋康夫さん
への黙とうから始まり、すべての議案がつつが
無く審議・議決されました。続いて、瀧崎吉伸
さんの「豊橋公園の植物今昔」の卓話で会を締
めくくりました。その後の懇親会では、さらに
盛り上がったのはいうまでもありません。

新年度、支部代表の交代など、新たな気持ち
で自然と向き合っていきたいと思います。

東三河支部 2019 年度役員

支 部 長：星野 芳彦

新指導員紹介

2018 年三重県での指導員講習会を受けた方
の中から、10 人の方が県協議会に入会されまし
た。順次、自己紹介をさせていただきます。

・名古屋支部 西野 智子：すぐ脇に生えてい
る草の名、木の名、花の名、何も知らずに 50
年生きてきました。自分自身がボ-ッと生きて
来た為、今になって何も知らない事にびっくり。
きのこに一番興味が有りますが「木」がわから
ない事には「木の子」もわからないのかと。と
にかく色々知りたいと思っております。

・名古屋支部 黒宮 茂：歩くこと、写真を撮
ることが好きです。’18 年春に会社を退職し時
間ができたので、12 月には、名古屋駅から米原
経由で京都御所まで歩きました。散歩しながら
写真を撮るのが好きで、花、虫、植物、鳥、風
景等を撮っています。また、青空や青空に浮か
ぶ雲が好きで、散歩しながら眺めています(気
象の勉強もしています)。色々な物や現象に対
する好奇心、自然の不思議さに対する感性を忘
れないように活動できればと思っていますの
で、宜しくお願い致します。

・尾張支部 中根 賢二：豊田市を中心に間伐、
自然観察、環境教育などの活動を行っておりま
す。土壌や生物を含めた森林生態系の理解、河
川を通じた流域全体の環境保全の取り組みに
関心があります。よろしくお願いします。

・西三河支部 中川 秀彦：現在は、地元の環
境課・市民活動グループに依頼されて、1 年に
2 回～3 回、野鳥を中心に植物や昆虫も少し案
内しています。年末には、自然好きなシニアの
メンバーに野鳥案内をしたこともあります。無
理のないところで、自分のペースで少しずつ自
然を楽しみながら、自然との橋渡しができれば
と考えています。

・西三河支部 五十嵐 俊三：5 年前に、退職
してから、自然観察を趣味として身近な観察会
などに参加して勉強中です。

平成 2018 年度 第5回理事会 報告

日 時:2019 年 2 月 11 日(月・祝)13:30～ 場 所:名古屋都市センター

出席者:堀田、星野、石原、長谷川、浅井、永田、新山、山田、松尾、滝田、榊原、河江、

◆議案

1. 来年度(2019 年度)事業案

- ・「あいちの自然観察会」、「研修会」の内容について、板書していただき、日程等を確認した。
- ・自然観察指導員講習会を日本自然保護協会との共催とし、「美浜少年自然の家」で開催することとした。スタッフは協議会から 9 名を選出予定。
- ・「生物分類・生態研修会」は、テーマを「火と植物との不思議な関係」とし、講師は岐阜大学の津田 智先生にお願いすることになった。
- ・「協議会交流の日」は 11/4(月・祝)とし、担当は名古屋支部。 西区庄内緑地でネイチュア・フィーリングなど予定。
- ・理事会は、各支部の持ち回りになっていたが、年間を通して名古屋で行うこととした。

2. 新役員の紹介 東三河支部長:寺本和子さんから星野芳彦さんに交代

理事退任: 日浦誠章

3. その他

- ・有松中学校から稲武での自然観察会講師派遣の依頼があった。

2019 年度 第1回理事会 報告

日 時:平成 2019 年 3 月 21 日(木・祝)10:00～ 場所:日本特殊陶業市民会館

出席者:堀田、星野、石原、長谷川、浅井、永田、新山、山田、松尾、滝田、榊原、三田、河江、吉田

◆議案

1. 総会資料について再度確認した。主な確認事項は以下の通り。

あいちの自然観察会	各支部から日時・テーマ・実施場所を確認した。
研修会(各支部)担当	(通常総会資料「第4号議案 2019年事業」に掲載)
自然観察指導員講習会	日時:8月31日(土)9:30～9月1日(日)16:30 場所:美浜少年自然の家 定員:55名 スタッフ:各支部から1名以上
生物分類・生態研修会※	テーマ:火と植物との不思議な関係 講師:津田 智氏(岐阜大学) 日時:11月30日(土)14:00～ 場所:庄内緑地グリーンプラザ2階 研修室
協議会受託事業	有松中学校2年生9クラス350名 リーダー:指導員28名 日時:6月6日(土)9:30～ 場所:名古屋市稲武野外教育センター
協議会交流の日(担当:名古屋支部)	日時:11月4日(月・祝) 場所:名古屋市西区庄内緑地 内容:ネイチュア・フィーリング他
保険	レクリエーション傷害保険3,000名見込み(163号に折込み) 熱中症も加える

※なごや生物多様性保全活動協議会の会員活動支援で行う予定。

2. 新役員の紹介(各支部で推薦、理事会で承認)

- ・会長:堀田 守 副会長:浅井聡司、三田 孝

3. その他

- ・2018年、三重県で指導員講習会があり、県内から29名受講、10名が協議会に入会。
- ・第2回理事会 5月6日(月・祝)13:30～、場所:音楽プラザ

【行事案内】

区分	日 時	内 容	実施場所	集合場所	担 当
あいちの 自然観察会	8/01(木) 10:00～12:00	川のいきもの	犬山市栗栖	桃太郎公園 河川敷駐車場 10:00	尾 張 定員20名
	8/18(日) 10:30～12:30	海辺のヤドカリ	蒲池漁港	蒲池漁港P	知 多
研修会	6/30 (日) 10:00～12:00	伊良湖岬のいき もの調べ	伊良湖岬 周辺(田原 市伊良湖)	伊良湖クリ スタルポル ト前	東三河HP を参照のこと
	7/06(土) 9:00～17:00	多種多様の天然 美林の観察	アライダ シ国有林	犬山駅9:00 出発道の駅 ラ・フォー レ 10:30 出 発	尾張山田博 一 symbio721@ wh.commuja.jp
指導員講 習会	8/31(土)9:30 ～ 9/01(日)16:30	自然観察指導員 講習会・日本自 然保護協会との 共催	美浜少年 自然の家 周辺	美浜少年自 然の家受 付:9:00～	協議会 事務局
協議会交 流の日	11/04(月・祝) 10:00～15:00	ネーチュア・フ ィーリング・標 本作成等	庄内緑地 公園	グリーンプ ラザ前 9:50	名古屋・滝田 052-782-2663
生物分類・ 生態研修 会	11/30(土) 14:00～	テーマ:火と植 物との不思議な 関係 講師:岐阜大学 津田 智 氏	庄内緑地グリーンプラ ザ2階研修室		協議会 事務局

【編集部から】

- ① 編集スタッフ募集中！編集スタッフが不足しています。マイクロソフトのワードが出来ればOKです。詳細は編集部までお問い合わせください。

<編集後記>

今年度協議会ニュース編集担当理事は決まりませんでした。当面事務局が対応します。新連載(特集)も決まっています。会員の皆様から、こんな連載なり、特集を組んだら紙面も楽しく充実するのではないかと、ご意見、ご要望を編集スタッフまたは支部長さんや理事の皆さんにお声をかけください。宜しくお願いします。(石原)

編集スタッフ	石原則義 岡田雅子 馬場隆之 平山希能
協議会ニュース編集部	石原則義 事務局に同じ

愛知県自然観察指導員連絡協議会（あいち自然観察会）事務局 石原則義
〒464-0096 名古屋市千種区下方町7-3 TEL/FAX : 052-711-3087
E-mail : norinameobata@yahoo.co.jp Web Page : http://naichi.net
郵便振替口座 : 00820-9-6546 (名義 : 愛知県自然観察指導員連絡協議会)